

輸出事業計画

※申請者名: 辻水産株式会社、品目: 愛媛県産水産物

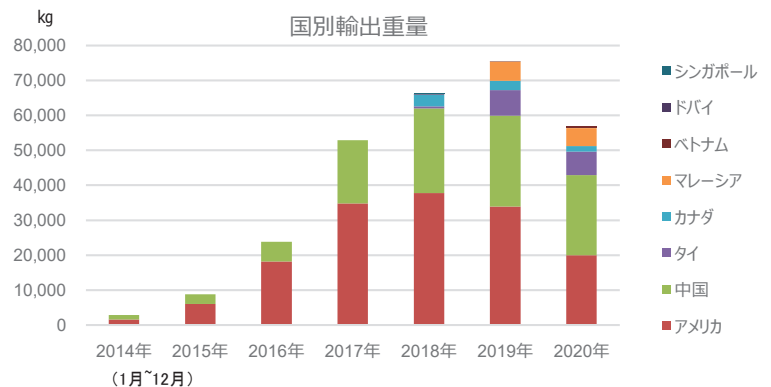
1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
 - 需要の減少に伴う魚価の低下、価格の変動に伴う生産者の経営圧迫、生産者の高齢化で廃業者が増加
 - 弊社の輸出は増加傾向(R2はコロナでダウン)
- (背景)輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等
- (追い風)日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等
- (実態)北米向けマグロの増加、中国直接輸出の開始

【課題】

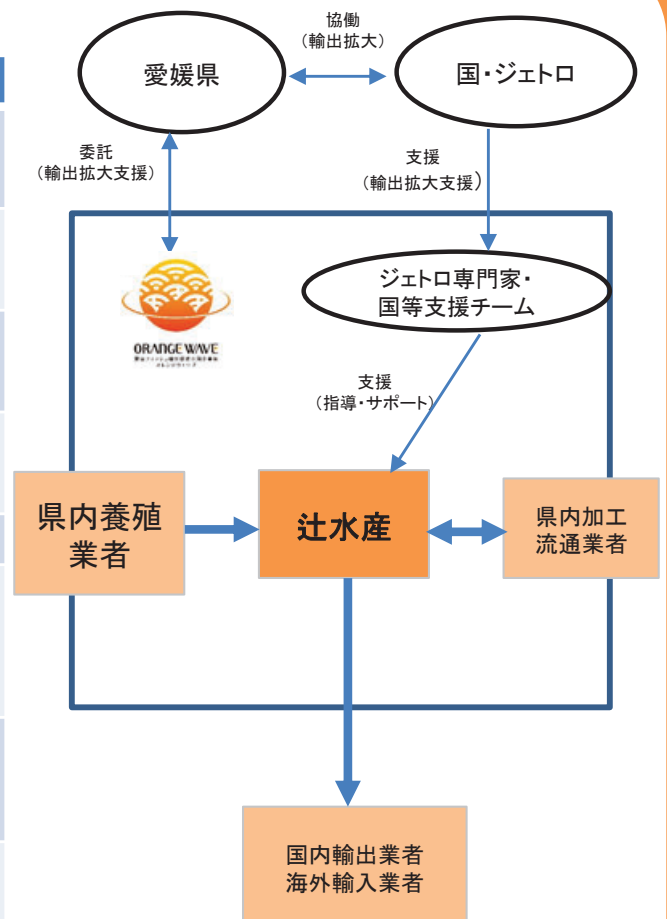
- 輸出 ～さらなる輸出拡大に向けて～
- ・HACCP施設の維持拡大
- ・輸出障壁(産地証明書・放射性物質検査等)
- ・体制整備(HACCPプラン、FSMA対応等)
- ・アイテム確保(漁業認証、戦略魚種)
- ・認知度向上(愛育フィッシュ、EHIME JAPAN)
- ・ビハインド(価格等)
- ・マーケットニーズの把握



2. 輸出事業計画の取組内容

●辻水産は愛媛県が行う次の取組みに同調します

項目	対応策
HACCP輸出	・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	・輸出証明書の迅速な発行体制 ・鮪ICCAT・SIMP申請手続の整備
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得
漁業認証	・FSSC22000認証の取得 ・MEL認証魚種及び生産者の拡充
戦略商品	・MEL魚・AEL魚・愛育フィッシュ
認知度	・県プロモーション活動への参加 ・国(ジェトロ)と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした輸出 ・県内加工流通業者との連携
マーケットニーズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等

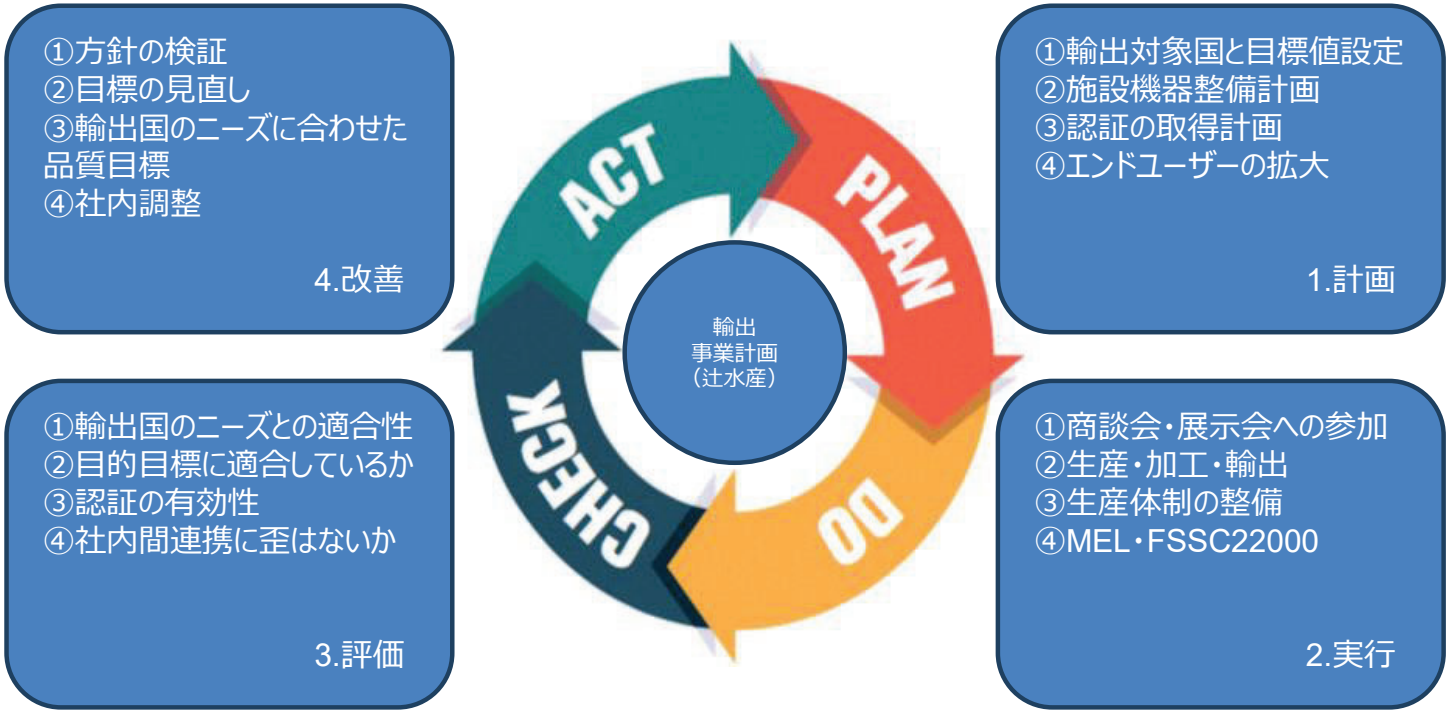


オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：辻水産株式会社、品目：愛媛県産水産物

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

愛媛県産ぶり	現状(令和2年度)	目標(令和9年度)	増減
輸出額(円)	0	71,500,000	71,500,000
輸出量(t)	0	55.0	55.0
輸出先国	—	米国、タイ、その他	米国、タイ、その他
愛媛県産まだい	現状(令和2年度)	目標(令和9年度)	増減
輸出額(円)	1,882,000	44,000,000	42,118,000
輸出量(t)	1.5	40.0	38.5
輸出先国	中国、タイ	中国、タイ、その他	その他
愛媛県産くろまぐろ	現状(令和2年度)	目標(令和9年度)	増減
輸出額(円)	254,577,000	400,000,000	145,423,000
輸出量(t)	57.0	90.0	33.0
輸出先国	米国、中国、タイ、マレーシア、その他	米国、中国、タイ、マレーシア、台湾、その他	台湾、その他
愛媛県産その他	現状(令和2年度)	目標(令和9年度)	増減
輸出額(円)	1,417,000	24,750,000	23,333,000
輸出量(t)	0.5	9.0	8.5
輸出先国	マレーシア	米国、マレーシア、その他	米国、その他